

2050年石油ベースプラスチックゼロに向けた取組を始めます

東京農工大学はSDGsの達成、2050年石油ベースプラスチックゼロに向けて、「**農工大プラスチック削減5Rキャンパス (TUAT Plastic 5R Campus)**」として、使い捨てプラスチックの削減と、**課題解決のための新素材の創製等を含めた研究の推進**に取り組みます。

削減策 Reduce, Reuse, Recycle, Renewable

自販機のペットボトルをゼロに

給水器の設置とマイボトル利用呼びかけ

学内店舗での使い捨てプラ袋の廃止

有料袋導入・マイバック利用呼びかけ

プラスチック減量の大学グッズ採用

大学グッズに代替品を導入

クリアファイルに循環型素材を採用

ロゴ入りマイボトル販売

教育

学生への啓発・次世代人材の育成

初年次教育・シンポジウムや勉強会の開催

研究 Research

プラスチック課題を解決する研究

マイクロプラスチック分布および影響調査

海上プラスチック回収装置の開発

バイオマスベースの代替素材の開発

ライフサイクルアセスメントの実施

社会貢献

普及啓発活動・社会との連携

社会への説明・行政や企業との協働

体制

ステークホルダーによる協議会を設置。持続性を担保し発展させる

5R: Reduce, Reuse, Recycle, Renewable, and Research